



希望ヶ丘地区

希望ヶ丘地区は、希望ヶ丘駅・厚木街道の南部の丘陵部に開けた住宅地で、駅周辺から丘陵に向かって放射状に道路が整備されており、駅周辺及び駅から南に伸びる道路を中心に商店街が形成されています。

駅周辺は比較的集合住宅が多く、さちが丘方面及び三ツ境方面は戸建住宅が整備されています。

地区担当：南希望ヶ丘地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

子ども

保育園

- ① 中希望ヶ丘保育園

放課後児童クラブ

- ② やっはし学童クラブ
- ③ 放課後児童クラブ 第2ちびっこハウス

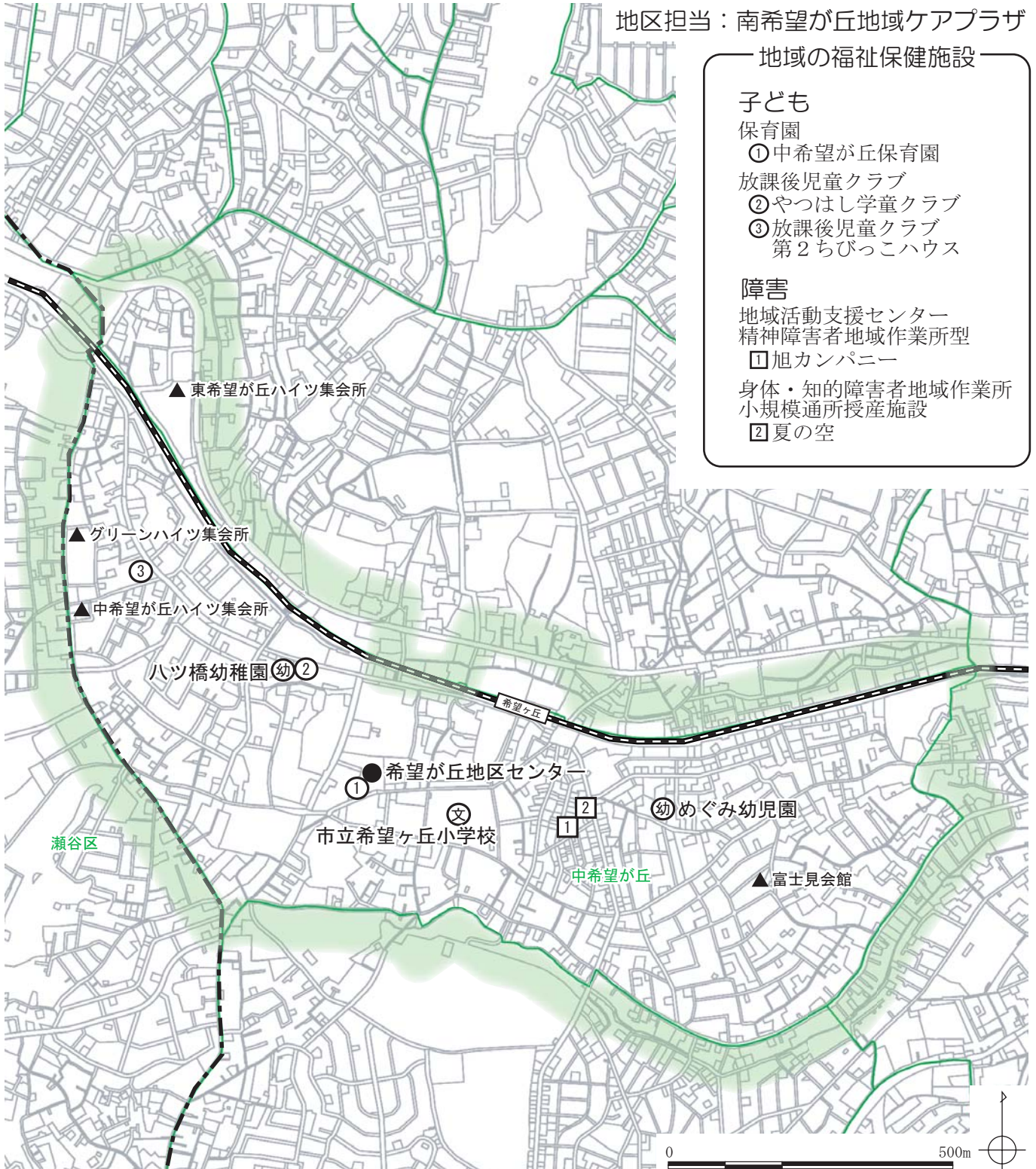
障害

地域活動支援センター 精神障害者地域作業所型

- ☐ 旭カンパニー

身体・知的障害者地域作業所 小規模通所授産施設

- ☐ 夏の空



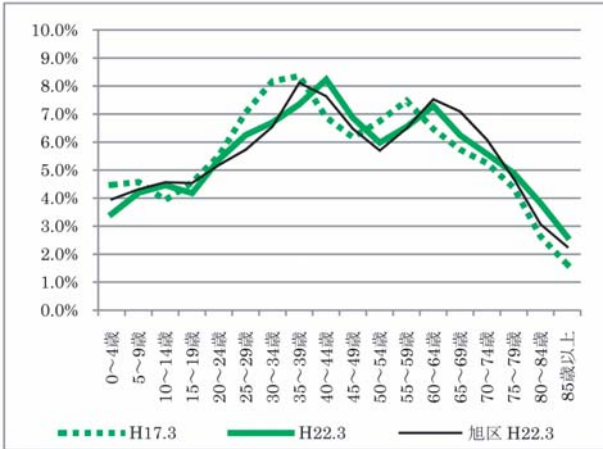
実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

【地区周辺の地形】



【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	4,581 世帯	4,745 世帯	+3.6%
総人口	10,301 人	10,138 人	-1.6%
0~14歳	1,337 人 (13.0%)	1,225 人 (12.1%)	-8.4%
(内、0~6歳)	653 人 (6.3%)	521 人 (5.1%)	-20.2%
15~64歳	6,944 人 (67.4%)	6,566 人 (64.8%)	-5.4%
65歳以上	2,020 人 (19.6%)	2,347 人 (23.2%)	+16.2%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計 (中希望が丘)

※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。そのため、グラフと表は中希望が丘のみの数字となります。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

希望が丘地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

子育て地域サロン

「みんなの茶の間」

(K.K.ネット)

毎月第1金曜日

時間：10:00~11:30

場所：希望が丘地区センター

親子で気軽に集い、交流する場です。



地域リハビリ教室

「さくら会」

毎月第1・3火曜日

時間：13:30~

場所：希望が丘地区センター

脳血管疾患等で中途障害のある方が集まり、機能訓練や交流をする場です。



食事サービス

「希望が丘松の会」

毎月第4金曜日

時間：12:30~

場所：希望が丘地区センター

ひとり暮らし高齢者の方の昼食会の場です。

各種スポーツ活動を展開中！

連合のソフトボール女子チームは、旭区内の大会で準優勝(平成22年度)。

その他、多くの自治会町内会でスポーツ活動(バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道等)が盛んに行われています。

老人クラブに入りませんか？

バス旅行、公園の美化活動等のイベントやカラオケ、グラウンドゴルフ、俳句、囲碁将棋等の趣味での交流を通じて、仲間をつくりませんか？
まずは、体験入会から。

・地域には他にも様々な活動があります。

・活動についてのお問合せは、
連合自治会町内会
南希望が丘地域ケアプラザ
希望が丘地区センター
旭区社会福祉協議会
へお気軽にどうぞ。

地区での取組のテーマ（第1期計画から一貫する事柄）

● 地域の支えあいを育む活発な交流があるまち

【取組を進めるにあたり、特に大切にしたい点】

最近はお互いに関心であったり、子ども同士の関わりや自治会町内会と商店街との交流も少なくなっていますが、支えあい活動の原点は顔見知りであることです。そのためにもあいさつは重要と考えています。また、少子高齢化の進む中で、地域の安全を守り、安心して日々の生活を送るためには、あらゆる機会を捉えて、地域の中の様々な交流を活発にしていくことが求められています。

地域の中で支えあい体制を構築するにあたり、これらの取り組みは大切にしたい点です。

第1期になされた活動（これまでの活動）

【計画内容】

あいさつの街をPRする
（おあしす運動）

地域の集まりで
知り合いを増やす

学校を通じて
交流を行う



おあしす運動の
ポスターを作成
自治会の掲示板に
掲示し啓発

地区社会福祉協議会
高齢者を祝う集い
福祉バザー など
連合自治会
防災訓練
ふれあい大運動会
環境美化活動 など
各自治会町内会
盆踊り、お祭り など
各種団体による活動
大なわとび大会
紙飛行機大会 など
K. K. ネットの会
（子育てサロン）



希望ヶ丘小学校の
キャラクターが
おあしす運動をPR
クラブ活動も
地域の行事に参加

【ふりかえり】

あいさつの街をPRする （おあしす運動）	<ul style="list-style-type: none"> 行き交う人にあいさつ等の声かけがスムーズにできた。 子どもが大人以上にあいさつしあっている姿が見られた。 知っている人にしかあいさつできていないのが実情。 もう少しPRする必要があるのではないか。 など
地域の集まりで知り合いを増やす	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の集まりに参加することで、知り合いを増やせた。 地域の集まりは、数が多い方がより知り合いができる。 参加できない方々へのフォローができない現況。 など
学校を通じて交流を行う	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の行事に参加することにより、一定の成果があった。 子ども達にポスターを作成してもらってはどうか。 学校との関わりが今一步だった。 など

地区での検討

平成22年1月から10月にかけて、地区の様々な活動組織からなる「希望が丘中地区支えあい連絡会」の場で検討を行い、第1期の成果と課題を踏まえて、第2期での取組の方向性を取りまとめました。

検討組織は、さらに連携を強めながら協力し、地区での取組を推進する母体となっていきます。



希望が丘中地区支えあい連絡会の構成組織

- 地区社会福祉協議会
- 連合自治会
- 地区民生委員児童委員協議会
- 保健活動推進員
- 主任児童委員
- 松の会
- さくら会
- 障害のある人とその家族
- 地区老人クラブ連合会
- 子ども会育成連絡協議会
- 希望ヶ丘小学校PTA
- 八ッ橋幼稚園
- 中希望が丘保育園
- 希望ヶ丘小学校
- 区社会福祉協議会
- 区役所
- 南希望が丘地域ケアプラザ

意見・現状の課題

- ・おあしす運動は地域の土台として必要なもの。ずっと続けていってよい運動だ。
- ・集まりに参加するメンバーが固定化している。
- ・ボランティア組織もメンバーが増えず固定化している。
- ・おあしす運動も地域の集まりもPR方法の工夫や積極的な声かけが必要である。
- ・究極の支えあいのご近所同士。関係が希薄になってきているのであいさつからはじめたい。
- ・要援護者が把握できていない。など

計画の目標

地域の支えあいを育む活発な交流があるまち

重点的な取組の方向性

取組の柱	取組内容の方向性
あいさつの街をPRする (おあしす運動)	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に声かけを行い、さらなる親密な関係を築こう。 ○絶え間ないポスター掲示等を行い、「おあしす運動」を常にPRしていこう。 ○住民の孤立化防止につなげていこう。
地域の集まりで知り合いを増やす	<ul style="list-style-type: none"> ○参加しない人（地域に溶け込むことを待っている人）を皆で誘い、仲間にしよう。 ○集まりの場の情報が、皆に行き渡るようにしよう。
学校を通じて交流を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもと一緒に楽しめるイベントを実施しよう。 ○こども達にPRポスターを作成してもらおう。
支えあいの輪を地域に広げる	<ul style="list-style-type: none"> ○皆が情報を出し合い、要援護者の把握からはじめよう。 ○ボランティア精神を育み、要援護者等の手助けをしよう。